

研究に関するお知らせ

— CT および MRI 検査・IVR 治療を受けられた患者さんへ —

岐阜大学医学部附属病院では、画像診断や IVR 治療のさらなる発展のため、検査結果の画像や治療時の所見を後日研究目的で使用する場合があります。このような研究は倫理委員会の審査を受け、承認された後に関連の研究倫理指針に従って実施されます。

研究期間：倫理委員会審査承認後 ～ 5 年間

【研究課題】 画像下治療(IVR 治療)に関する後方視的包括研究

【研究目的】画像下治療(以下 IVR 治療)はその低侵襲性から様々な疾患に幅広く応用されており、その有用性については今や疑うべくもありません。さらに IVR 治療に用いる医療機器の進歩は日進月歩であり、これまで適応とならなかった疾患に対しても適応が広がり、中には IVR が治療の第 1 選択となるケースも増えてきています。また、その有効性ゆえに非常に様々な疾患に応用され、有病率の低い疾患にも有効であることが報告されている一方で、十分な治療根拠が得られているとは言いがたい部分も未だに多く残されています。さらに治療適応判断についても十分な根拠がなく、経験則に基づいて行われているケースが多くあるのも実情です。このような現状を改善して行くには、過去に行われた IVR 治療や治療の可否について判断した画像等の臨床データについて後方視的に十分に検討し、新たなエビデンスとして確立していく事が求められています。本研究の目的はこれまで IVR 治療が行われてきた患者様を対象とし、治療適応判断を中心とした画像所見の解析を行うとともに、治療内容について詳細に検討し、エビデンスを確立していくために研究を行います。

【対象・研究方法】 当院新病院開院後からこれまでに IVR 治療を検討されたり、行われた患者。

【研究機関名】 岐阜大学医学部附属病院

【個人情報の取り扱い】 検査データ・その他関連情報は匿名化を行い、これに関わる個人情報は、個人情報管理担当者によって厳重に管理されます。研究成果の発表時を含め、外部に公開されることは一切ありません。

【その他】 この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。当院で実施されている通常の検査、手術により、上記期間中に得られた検査結果を本研究のために使用させていただきます。また、研究対象となる患者さんに謝金は支払われません。

この研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。

IVR 治療について検討され、検査を受けられた患者さんや実際に IVR 治療を受けられた患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：川田 紘資 岐阜大学医学部附属病院 放射線科 医員

住所：岐阜市柳戸 1-1 TEL:058-230-6000 (内線) 6439